

HP.HPE2-W12.v2026-06-01.q14

試験コード：	HPE2-W12
試験名称：	Selling HPE Aruba Networking Solutions
認証ベンダー：	HP
無料問題の数：	14
バージョン：	v2026-06-01
ページの閲覧量：	105
問題集の閲覧量：	143

<https://www.jpnsshiken.com/shiken/HP.HPE2-W12.v2026-06-01.q14.html>

質問: 1

IT 意思決定者は、トラブルシューティング プロセスを自動化し、ネットワークが最適化されていることを保証したいと考えています。

これらの要件に基づいて、どの機能を重視する必要がありますか？

- A. HPE Aruba ネットワーキング ダイナミックセグメンテーション
- B. HPE Aruba ネットワーキング ファブリック コンポーザー
- C. HPE Aruba Networking ClearPass ポリシーマネージャー
- D. HPE Aruba ネットワーキング ネットワークインサイト

正解: D ([コメントを发表する](#))

正解は D です。Aruba Network Insight (Aruba Central の AIOps 機能の一部) は、トラブルシューティングの自動化、異常の検出、最適化の推奨事項の提供を目的として特別に設計されています。AI/ML ベースの分析を使用して、平均解決時間 (MTTR) を短縮し、ネットワーク パフォーマンスを最適化し、問題がユーザーに影響する前にプロアクティブに防止します。

公式 HPE Aruba Networking ドキュメントからの関連抜粋:

- * Aruba Network Insight は機械学習を活用して、問題を自動的に検出し、解決策を推奨し、ネットワーク全体のパフォーマンスを最適化します。」
- * トラブルシューティングを自動化することで、IT チームは問題解決に費やす時間を減らし、戦略的な取り組みに多くの時間を費やすことができます。」
- * Network Insight は、ユーザー エクスペリエンス データとインフラストラクチャのパフォーマンスを相関させて、実用的な推奨事項を提供します。」
- * AI駆動型AIOpsにより、Aruba Centralは手動によるトラブルシューティングを削減し、ネットワークの最適化を維持します。」他の選択肢が間違っている理由：
- * ダイナミック セグメンテーションは、トラブルシューティングの自動化ではなく、一貫したロールベースのセキュリティ ポリシーを提供します。
- * BFabric Composerはキャンパスのネットワークトラブルシューティングではなく、データセンターファブリックの運用を自動化します。

/エッジ環境。

* CClearPass ポリシー マネージャーはアクセス ポリシーを適用しますが、最適化やトラブルシューティングの自動化は提供しません。

参考資料 HPE Aruba ネットワーク ソリューション / 学習ガイド) :

- * Aruba Central AIOps とネットワークインサイト - ソリューション概要
- * Aruba ESP AIを活用したトラブルシューティング - ホワイトペーパー
- * Aruba Central AIの洞察と推奨事項 - 製品概要
- * Aruba Central ネットワーク最適化 - 導入ガイド

質問: 2

顧客は分散データセンター アーキテクチャへの移行を希望していますが、今年は予算に制約があります。

どの移行アプローチを推奨すべきでしょうか？

- A.** 既存のサードパーティ製スイッチを HPE Aruba Networking Central を使用して管理することを顧客に推奨します。
- B.** データセンター エッジに分散データセンター アーキテクチャをサポートする 2 つのスイッチをインストールし、すべてのトラフィックをそれらのスイッチ経由でルーティングします。
- C.** 組織がすべての ToR スwitchを一度に交換できる予算を確保するまで、移行を延期します。
- D.** 一度に 1 つのラック内の ToR スwitchを交換し、更新された各ラックでセキュリティ強化のメリットを享受します。

正解: ([正解を表示します](#))

正解はDです。Arubaが推奨するデータセンター近代化のアプローチは、ToR (Top-of-Rack) スwitchをラックごとに段階的にアップグレードすることです。これにより、予算が限られている組織でも、データセンター全体を一度に更新することなく、ゼロトラスト セグメンテーション、自動化、セキュリティ強化といったArubaの分散アーキテクチャのメリットを段階的に享受できます。ラックをアップグレードするたびに、予算内で回復力とセキュリティが向上します。

公式 HPE Aruba Networking ドキュメントからの関連抜粋:

- * Aruba CX スwitchはモジュラー移行パスをサポートしており、お客様はラックごとに導入しながら、導入ごとに自動化とセキュリティのメリットを拡張できます。」
- * 組織は小規模から始めて特定のラックやポッドをアップグレードし、時間をかけてスケールアウトして完全に分散されたアーキテクチャを実現できます。」
- * 段階的なアップグレードを活用することで、お客様はフォークリフトの交換を中断することなく、ゼロトラストと分散サービスを導入できます。」
- * このアプローチは、予算の制約と即時のメリットのバランスを取り、IT部門がデータセンターインフラを段階的に近代化することを可能にします。」他の選択肢が間違っている理由:

- * Aruba Central でサードパーティ製スイッチを管理すると監視機能が提供されますが、分散型 Aruba データセンター アーキテクチャの利点は得られません。
 - * エッジにスイッチを 2 つだけインストールするとボトルネックが発生し、スケーラブルで復元力のある分散設計にはなりません。
 - * 移行を延期しても、セキュリティや運用上のメリットはすぐには得られず、近代化が不必要に遅れることになります。
- 参考資料 HPE Aruba ネットワーク ソリューション / 学習ガイド) :
- * Aruba ESP データセンター設計および移行ガイド
 - * Aruba CX スイッチング - 最新のデータセンター変革に関するホワイトペーパー
 - * データセンターにおけるArubaゼロトラストと分散サービス - ソリューション概要
 - * Aruba Fabric Composer および EVPN-VXLAN 導入ガイド

質問: 3

HPE Aruba Networking データセンターソリューションの潜在顧客との面談を予定しています。HPE Aruba Networking CX 10000 のメリットについて、どのような質問が最も効果的に会話を発展させられるでしょうか？

- A. データセンターのネットワーク トラフィックをサイバー攻撃からどのように保護していますか？
- B. IoT デバイスがネットワークを危険にさらさないように、どのように保護していますか？
- C. データセンターを標的としたランサムウェア攻撃からの復旧について、貴社ではどのような計画をお持ちですか？
- D. 高精度の位置情報サービスは、組織にデータセンターの管理においてどのようなメリットをもたらしますか？

正解: ([正解を表示します](#))

正解は Aruba CX 10000 スイッチシリーズは、ステートフルファイアウォールと分散サービスをトップオブブラックスイッチに直接統合することで、データセンター内のEast-West セキュリティに対応するように特別に設計されています。これにより、ラテラルムーブメント、ランサムウェアの拡散、内部脅威などのサイバー攻撃からデータセンター内のネットワークトラフィックを保護します。」です。

公式 HPE Aruba Networking ドキュメントからの関連抜粋:

- * Pensando を搭載した Aruba CX 10000 は、ゼロ トラストと分散ファイアウォールをデータ センターの奥深くまで拡張し、東西方向のトラフィックを大規模に保護する独自の機能を提供します。」
 - * CX 10000 は、ステートフル セキュリティ サービスをスイッチング ファブリックに直接組み込むことで、東西トラフィックが保護されない盲点を排除します。」
 - * 組織は、アプリケーションに最も近いセグメンテーションとファイアウォールポリシーを適用することで、重要なワークロードを高度な脅威から保護できるようになりました。」
- 他の選択肢が間違っている理由 :

- * IoT デバイスのセキュリティ保護は、主にキャンパス/エッジのユースケース (Aruba Central、ClearPass、Dynamic Segmentation で対応) であり、CX 10000 のコアな差別化要因ではありません。
 - * ランサムウェアからの回復は重要ですが、CX 10000 のプロアクティブなファブリック内セキュリティの利点ではなく、バックアップ/復元と災害復旧に重点が置かれています。
 - * 位置情報ベースのサービスは WLAN およびエッジ ネットワーキング機能であり、データセンターのスイッチングとは関係ありません。
- 参考資料 HPE Aruba ネットワーク ソリューション / 学習ガイド) :
- * Aruba CX 10000 スイッチシリーズ (Pensando 搭載) - 製品概要 / データシート
 - * Aruba ESP データセンター ネットワーキング - ソリューション概要
 - * Arubaゼロトラストと分散サービスアーキテクチャ - テクニカルホワイトペーパー
 - * HPE Aruba Networkingのデータセンターソリューションにおける競争優位性

質問: 4

HPE Aruba Networking Central の際立った価値として機能するセキュリティ機能は何ですか？

- A. データセンター内の VM 間トラフィックをフィルタリングするステートフル ファイアウォール。
- B. ワイヤレス ネットワーク内のトラフィックを暗号化する機能。
- C. データ損失を防ぐために、SaaS アプリケーションへのリモート ユーザーのアクセスをフィルタリングします。
- D. ファームウェア アップグレードに関する AI ベースのセキュリティ推奨事項。

正解: ([正解を表示します](#))

正解はDです。Aruba CentralはAI主導のセキュリティインテリジェンスを活用し、ファームウェアや構成のアップデートを含むプロアクティブな推奨事項を提供することで、脆弱性を軽減し、ネットワーク全体のセキュリティを強化します。この機能は、AI for Networking (AIOps)とセキュリティポスチャ管理を組み合わせることで、新たな脅威に対するネットワークの耐性を維持するという点で、Aruba Centralの特徴です。

公式 HPE Aruba Networking ドキュメントからの関連抜粋:

- * Aruba Central は、AI ベースのセキュリティ推奨事項を提供して、構成のギャップを特定し、既知の脆弱性に対処するファームウェア更新を提案します。」
- * AI Insights は、リスクを積極的に強調表示し、規範的な修復ガイダンスを提供することで、リスクを軽減し、ゼロ トラスト フレームワークへのコンプライアンスを向上させます。」
- * Central のセキュリティ推奨事項により、IT 管理者は手動での調査や分析を行わずに、リスクを最小限に抑える変更をプレビューして適用できます。」
- * AI駆動型分析と自動化されたセキュリティ態勢管理を組み合わせることで、Aruba Centralは分散ネットワークの保護を簡素化します。」他の選択肢が間違っている理由 :

- * VM 間トラフィックのステートフル ファイアウォールは、Aruba Central ではなく、データ センター CX 10000 の機能です。
- * ワイヤレス ネットワークでの BTraffic 暗号化は、Central 固有の差別化要因ではなく、Wi-Fi セキュリティ標準 (WPA3 など) を通じて提供されます。
- * Cフィルタリング SaaS アクセスは通常、Secure Access Service Edge (SASE) または ZTNA ソリューションの一部であり、Aruba Central のネイティブ ロールではありません。
参考資料 HPE Aruba ネットワーク ソリューション / 学習ガイド) :
- * Aruba Central AI を活用したセキュリティと運用 - ソリューション概要
- * Aruba ESPゼロトラストとセキュリティポスチャ管理 - ホワイトペーパー
- * Aruba Central AIの洞察と推奨事項 - 製品概要
- * Aruba Central セキュリティ自動化とコンプライアンス - 導入ガイド

質問: 5

HPE Aruba Networking ソリューションがセキュリティギャップを埋める 1 つの方法は何ですか?

- A. HPE Aruba Networking エージェントをエンドポイントに導入することで、セキュリティ フィルタリングとアクセス制御をエンドポイントにオフロードします。
- B. ユーザーとデバイスの場所に基づいてアクセス権を割り当てる、定義済みのポリシーの展開を自動化します。
- C. トラフィックが常にエッジからデータセンター内のゲートウェイとファイアウォールを経由して宛先に流れるという厳密なトラフィック フローを実装します。
- D. 顧客は、ユーザーがどこにいても適用される一貫したポリシーを簡単に定義して適用できるようにします。

正解: D ([コメントを发表する](#))

正解はDです。HPE Aruba Networkingは、ネットワーク全体のユーザーとデバイスに自動的に適用される、アイデンティティベースのロールドリブンポリシーに重点を置いているためです。これにより、VLANやACLを手動で再設定する必要がなくなり、有線、無線、WAN 環境全体で一貫したポリシー適用が可能になります。このユーザーとデバイスを中心とした動的なアプローチは、Arubaのゼロトラスト・セキュリティ・フレームワークの基盤となっています。

公式 HPE Aruba Networking ドキュメントからの関連抜粋:

- * 「ダイナミック セグメンテーションは、LAN、WLAN、WAN のどこに接続しても、ユーザーとデバイスに一貫したアクセス ポリシーとセキュリティ ポリシーを適用します。」
- * 「Aruba ソリューションは、ロールベースのポリシーを集中的に適用することで、静的 VLAN と手動 ACL によって発生する不整合やセキュリティのギャップを排除します。」
- * 「このアプローチにより、場所、デバイスの種類、接続方法に関係なく、ポリシーが一貫して適用され、攻撃対象領域が削減されます。」
- * 「Aruba Zero Trust Securityは、ポリシー適用を企業全体に拡張し、運用を簡素化しながらセキュリティギャップを解消します。」他の選択肢が間違っている理由:

- * AAruba は、ポリシーの適用にエンドポイント エージェントに依存せず、代わりにエージェントレス検出、ClearPass、およびロールベースのアクセスを使用します。
 - * BAruba ポリシーは場所ベースではなく、アイデンティティとロールベースであり、ユーザー/デバイスのどこにいても追従します。
 - * CAruba は、すべてのトラフィックを中央ゲートウェイ (従来の VPN/ファイアウォールモデル) を通過させるのではなく、アクセス ポイントで分散型の強制を適用します。
- 参考資料 HPE Aruba ネットワーク ソリューション / 学習ガイド) :
- * Aruba ダイナミックセグメンテーション - ソリューション概要
 - * Aruba ESPゼロトラストセキュリティ - ホワイトペーパー
 - * Aruba ClearPass Policy Manager - テクニカルガイド
 - * Aruba ロールベース アクセス コントロール - 製品概要

質問: 6

HPE Aruba Networking Central Client Insights が顧客のリスクを最小限に抑えるために役立つ方法の 1 つは何ですか?

- A. HPE Aruba Networking Fabric Composer と統合して、特定の顧客の環境に適した分散ファイアウォール ポリシーを自動的に構成します。
- B. デバイスへの高い信頼性に基づいて、各デバイスに最小権限のアクセス制御を適用することで、顧客が ZTNA 戦略を実装するのに役立ちます。
- C. HPE Aruba Networking デバイスおよびサードパーティのセキュリティ ソリューションによって収集されたセキュリティ イベント、ログ、メトリック、およびその他の情報の中央リポジトリとして機能します。
- D. 従来の仮想プライベート ネットワーク (VPN) を置き換えることで、リモート ワーカーにゼロ トラスト セキュリティを実現します。

正解: ([正解を表示します](#))

正解は B です。HPE Aruba Networking Central Client Insights は、高度なデバイス検出、プロファイリング、分類機能を提供し、接続された各エンドポイントの ID について IT 部門に高い信頼性を与えるためです。

これにより、ゼロ トラスト ネットワーク アクセス (ZTNA) の基礎となる最小権限アクセス ポリシーの適用が可能になります。

公式 HPE Aruba Networking ドキュメントからの関連抜粋:

- * Aruba Central の Client Insights サービスは、AI/ML を活用して、IoT や BYOD を含む接続されたすべてのエンドポイントを自動的に検出、分類、監視し、デバイス ID に高い信頼性を提供します。」
- * Client Insights を使用すると、IT 部門はデバイスの種類と状態に合わせたロールベースの最小権限アクセス ポリシーを適用することで、ゼロ トラストの原則を実装できます。」
- * クライアントインサイトは、すべてのデバイスを可視化し、継続的に検証することで、盲点を排除し、リスクを最小限に抑え、不正アクセスや横方向の移動の可能性を低減します。」他の選択肢が間違っている理由 :

- * AFabric Composer はデータ センター オーケストレーション ツールであり、ファイアウォール自動化のために Client Insights と直接統合されません。
- * SIEM のような機能を説明しますが、Central Client Insights は、ログ リポジトリとして機能するのではなく、デバイスの検出とプロファイリングに重点を置いています。
- * リモート アクセス用の DZero Trust は、Client Insights ではなく、Aruba SSE/ZTNA ソリューションを通じて提供されます。

Client Insights は、エンタープライズ ネットワーク内で適用され、接続されたエンドポイントを保護します。

参考資料 HPE Aruba ネットワーク ソリューション / 学習ガイド) :

- * Aruba Central Client Insights - ソリューション概要
- * Aruba ESPゼロトラストセキュリティ - テクニカルホワイトペーパー
- * Aruba AI を活用した可視性と制御 - ソリューション概要
- * Aruba ClearPassとClient Insightsの統合 - 導入ガイド

質問: 7

HPE Aruba Networking Central がネットワーク保護の簡素化に役立つ 1 つの方法は何ですか?

- A.** HPE Aruba Networking プライベート 5G ソリューションと統合することで、Wi-Fi 5、6、7 デバイスのセキュリティが自動的に強化されます。
- B.** トラフィックを安全にマルウェア検査できる 「サンドボックス」環境を提供します。
- C.** 新しい種類の脅威に応じて、ロールベースのアクセス制御ポリシーにルールを自動的に追加します。
- D.** 管理者がすぐにプレビューして適用できるポリシー推奨事項を提供します。

正解: ([正解を表示します](#))

正解はDです。Aruba Centralは、AIを活用したインサイトを通じてポリシー推奨を提供することで、セキュリティを簡素化します。これらの推奨により、IT管理者は複雑な手動設定を行うことなく、ユーザー、デバイス、アプリケーション全体にわたって一貫性と適応性に優れたセキュリティポリシーを適用できます。

管理者は提案されたポリシーを確認して直接適用できるため、人的エラーが削減され、セキュリティ体制が向上します。

HPE Aruba Networking ドキュメントからの関連抜粋:

- * Aruba Central は AI の洞察を活用して、管理者が迅速にプレビューして適用できるポリシー推奨事項を提供します。」
- * ポリシー自動化により、アクセス制御の実施に関連する手動のオーバーヘッドが削減され、セキュリティ操作が簡素化されます。」
- * Aruba Central を使用すると、組織はロールベースのアクセス ポリシーの展開を合理化し、ベスト プラクティスのセキュリティ ルールが一貫して適用されるようにすることができます。」

* 「このソリューションは、IT部門が分散環境全体にわたってセキュリティ管理を拡張し、運用の複雑さを軽減するのに役立ちます。」他の選択肢が間違っている理由：

* Aruba Central は、ネットワーク保護の簡素化にプライベート 5G 統合に依存しません。これは Aruba プライベート 5G ソリューションの一部です。

* BSandboxing トラフィック検査は、Aruba Central ではなく、高度なファイアウォール/セキュリティ プラットフォームの機能です。

* CCentral は、管理者の確認なしに新しいアクセス ルールを自動的に追加するのではなく、管理者が承認するための推奨事項を提供します。

参考資料 (HPE Aruba ネットワーク ソリューション / 学習ガイド)：

* Aruba Central セキュリティおよびポリシー管理 - ソリューション ガイド

* Aruba ESPアーキテクチャとAIを活用したセキュリティの概要

* Aruba Central AIの洞察とポリシー推奨事項 - 技術概要

* Aruba ネットワーク セキュリティの簡素化学習ガイド

質問: 8

組織がワイヤレス ネットワークを常にご利用できるようにするための 1 つの方法は何ですか？

A. HPE Aruba Networking ClearPass Policy Manager からトラブルシューティングの洞察を受け取ります。

B. HPE Aruba Networking CX の機能を使用して、ダウンタイムを発生させずにソフトウェア スイッチの更新を調整します。

C. HPE Aruba Networking ClearPass Device Insight を使用して、問題が発生する前に問題をプロアクティブに検出します。

D. HPE Aruba Networking Fabric Composer を使用して、ワイヤレス ネットワーク用の耐障害性のあるソフトウェア ファブリックを作成します。

正解: ([正解を表示します](#))

正解はBです。Aruba CXスイッチには、リアルタイムアップグレード (インサービスソフトウェアアップグレード、ISSU) や、ソフトウェアの更新と変更をダウンタイムなしで実行できるインテリジェントオーケストレーションツールなどの高度な機能が搭載されているためです。アクセスポイントはCXスイッチが提供する有線基盤を利用するため、無線インフラストラクチャの継続的な可用性が確保されます。有線基盤の耐障害性を維持することは、無線ネットワークの常時可用性を維持するために不可欠です。

公式 HPE Aruba Networking ドキュメントからの関連抜粋:

* Aruba CX スイッチは、ヒットレス ソフトウェア アップグレードやライブ パッチなどの機能により高い可用性を実現し、ノンストップの運用を保証します。」

* Aruba CX の自動化とオーケストレーションにより、IT チームはサービスを中断することなくソフトウェア アップデートを展開し、依存するワイヤレス ネットワークの継続的な接続を保証できます。」

- * Aruba CX の常時接続アーキテクチャにより、企業のワイヤレス展開の回復力が保証され、稼働時間が最大化されます。」
 - * 継続的な可用性は、アップグレード中の計画的なダウンタイムを排除することで実現されます。これは、重要なワイヤレスネットワークをサポートするための重要な要件です。」
- 他の選択肢が間違っている理由：
- * AClearPass Policy Manager は安全なアクセス制御とポリシーの適用を提供しますが、ワイヤレス ネットワークの可用性は保証しません。
 - * CClearPass Device Insight は、プロアクティブなワイヤレス可用性の保証ではなく、デバイスの可視性とプロファイリングに重点を置いています。
 - * DFabric Composer は、ワイヤレスの可用性ではなく、データ センター ファブリックの自動化を目的として設計されています。
- 参考資料 (HPE Aruba ネットワーク ソリューション / 学習ガイド)：
- * Aruba CXスイッチ - 高可用性とインサービスソフトウェアアップグレード (SSU) の概要
 - * Aruba ESP Always-On インフラストラクチャ - テクニカル ホワイト ペーパー
 - * Aruba CX 自動化とオーケストレーション - ソリューション概要
 - * Aruba CX を使用した Aruba キャンパスおよびブランチ ネットワーキング - 導入ガイド

質問: 9

お客様から、HPE Aruba Networking ZTNAが従来の仮想プライベートネットワーク (VPN) よりも優れている点についてご質問がありました。その際立った特徴は何でしょうか？

- A.** クラウドベースのソリューションは、顧客の増加するリモート ワーカーに合わせてシームレスに拡張できます。
- B.** HPE Aruba Networking ZTNA は、オンプレミスの管理プラットフォームによって複雑さを軽減します。
- C.** HPE Aruba Networking ZTNA は、最小権限ポリシーを自動的に作成して適用することで、攻撃対象領域を縮小します。
- D.** HPE Aruba Networking ZTNA は HPE Aruba Networking ゲートウェイを使用するため、ソリューションのコストは従来の VPN よりも低くなります。

正解: ([正解を表示します](#))

正解はCです。Aruba Zero Trust Network Access (ZTNA)は、VPNの広範かつ暗黙的な信頼モデルを、最小権限のアイデンティティベースのアクセスポリシーに置き換えることで、リスクを根本的に軽減します。リモートユーザーにネットワークへの包括的なアクセスを許可するのではなく、ZTNAはアプリケーションおよびユーザー固有のポリシーを動的に適用することで、攻撃対象領域を縮小し、ラテラルムーブメント（横方向の移動）を防止します。

公式 HPE Aruba Networking ドキュメントからの関連抜粋:

- * ZTNA は、ユーザーとデバイスの ID を継続的に検証し、コンテキスト要因に基づいて最小限の権限アクセスを割り当てることで、ゼロ トラストの原則を適用します。」

- * 完全なネットワーク アクセスを拡張する従来の VPN とは異なり、Aruba ZTNA はアプリケーションごとのアクセスを提供し、攻撃対象領域を大幅に削減します。」
 - * Aruba ZTNA は、自動化されたポリシー適用により、ネットワーク全体での不正な横移動を防止しながら安全なアクセスを保証します。」
 - * ZTNAは、きめ細かなアクセス制御とゼロトラストセグメンテーションを組み合わせることで、リモートワーカーを保護し、従来のVPNモデルよりも強力なセキュリティを提供します。」他の選択肢が間違っている理由：
 - * スケーラビリティは利点ですが、VPN と比較した場合の主な差別化要因ではありません。最小権限のセキュリティが中核的な差別化要因です。
 - * BAruba ZTNA はクラウドネイティブであり、オンプレミスの管理プラットフォームに依存しないため、これは正確ではありません。
 - * コストの削減は主な位置付けではありません。価値はセキュリティの強化とリスクの軽減にあります。
- 参考資料 HPE Aruba ネットワーク ソリューション / 学習ガイド) :
- * Arubaゼロトラストネットワークアクセス (ZTNA) - ソリューション概要
 - * Aruba ESPゼロトラストセキュリティ - テクニカルホワイトペーパー
 - * リモート ワークフォース向け Aruba SSE および ZTNA - 製品概要
 - * Aruba セキュリティおよびアクセス制御 - 導入ガイド

質問: 10

シニアITマネージャーから、ネットワーク管理者が問題のトラブルシューティングに費やす時間を減らし、新しい取り組みに集中できる時間を増やしたいとの要望がありました。HPE Aruba Networksは、シニアITマネージャーの期待に応えるためにどのように役立つのでしょうか。

- A.** AI for Networking を搭載した HPE Aruba Networking Central は、ML ベースのリアルタイムの洞察と推奨事項を提供することで、IT のトラブルシューティングを加速します。
- B.** HPE Aruba Networking ClearPass は、ネットワーク デバイスのパフォーマンスを監視し、パフォーマンスの問題を IT 管理者に自動的に通知します。
- C.** HPE Aruba Networking AP およびスイッチは、Network Analytics Engine (NAE) を使用してデバイスのオンボーディングを自動化します。
- D.** HPE Aruba User Experience Insight (UXI) は、データセンター アプリケーションのパフォーマンスが期待どおりに発揮されない理由を IT 部門が判断するのに役立ちます。

正解: ([正解を表示します](#))

正解は A」です。Aruba Central with AI for Networkingは、機械学習を活用した分析とインサイトを活用し、ネットワークパフォーマンスの問題を自動的に特定 解決します。これにより、ITチームが手作業によるトラブルシューティングに費やす時間を最小限に抑え、戦略的な取り組みに集中できるようになります。

公式 HPE Aruba Networking ドキュメントからの関連抜粋:

- * Aruba Central は、AI を活用した分析情報と規範的な推奨事項を提供することで、IT 部門が問題をより迅速に特定して解決できるようにし、トラブルシューティングの時間を数時間または数日から数分に短縮します。」
 - * AI/ML と高度な分析を適用することで、Aruba Central は異常をプロアクティブに検出し、根本原因分析を提供し、ダウンタイムを最小限に抑えて IT リソースを解放します。」
 - * Aruba CentralのIT運用向けAIは、リアルタイムのネットワーク健全性インサイトと自動修復ガイダンスにより、トラブルシューティングを迅速化します。」他の選択肢が間違っている理由：
 - * BClearPass は、ネットワーク パフォーマンスの監視やトラブルシューティングではなく、安全なアクセス制御とポリシーの適用を主な目的としています。
 - * Network Analytics Engine (NAE) は、カスタム テレメトリと自動化のための Aruba CX スイッチの組み込み機能ですが、ネットワーク全体にわたる広範なトラブルシューティングの加速を目的として設計されていません。
 - * DUXIはエンドユーザーエクスペリエンスの監視に有用なソリューションですが、インフラストラクチャ全体におけるAI主導のトラブルシューティングを置き換えるのではなく、補完するものです。上級ITマネージャーが達成した管理トラブルシューティング時間の短縮は、Aruba CentralのAIに最も直接的に反映されています。
- 参考資料 HPE Aruba ネットワーク ソリューション / 学習ガイド)：
- * Aruba Central AI for Networking - ソリューション概要
 - * Aruba ESP (エッジサービスプラットフォーム) - テクニカルホワイトペーパー
 - * 集中型IT運用のためのAruba AIOps - 導入ガイド
 - * Aruba Central AI を活用したトラブルシューティングと根本原因分析 - 製品概要

質問: 11

AI for Networking を搭載した HPE Aruba Networking Central の使用例を 1 つ教えてください。

- A. サイトの比較に基づいてネットワークを最適化するための推奨事項を提供します。
- B. エッジで分析プラットフォームを提供することにより、IoT デバイスの展開を強化します。
- C. AI をアプリに統合することで、社内で開発されたカスタム アプリケーションを強化します。
- D. キャンパスに接続されたデータセンターのアーキテクチャを簡素化します。

正解: A ([コメントを发表する](#))

正解は A」です。Aruba Central with AI for Networkingは、AI InsightsとAIを活用したベンチマークを活用してサイトのパフォーマンスを比較し、的確な推奨事項を提供します。これにより、ITチームはパフォーマンスの低いサイトを特定し、構成を最適化し、分散環境全体で一貫したユーザーエクスペリエンスを確保できます。

公式 HPE Aruba Networking ドキュメントからの関連抜粋:

- * Aruba Central は AI/ML を適用して、サイトのパフォーマンスを同業の拠点と比較するベンチマークなど、実用的な推奨事項を提供します。」
 - * Central は、複数の顧客環境にわたるデータを分析することでベスト プラクティスを特定し、最適化のための規範的なガイダンスを提供します。」
 - * AI for Networking により、IT チームは異常を検出し、問題を予測し、既知のベースラインと比較することでサイト間の一貫性を確保できます。」
 - * サイトの比較と推奨事項により、組織はパフォーマンスと運用効率を継続的に向上させることができます。」他の選択肢が間違っている理由：
 - * BloT デバイスの展開と分析は、主に Central の AI サイト比較ではなく、Aruba ClearPass と Device Insight によってサポートされます。
 - * CAruba Central AI はネットワークの最適化を目的としており、社内カスタム アプリケーションに AI を埋め込むためのものではありません。
 - * データ センターの簡素化は、Central の AI for Networking ではなく、Aruba CX スイッチ と Fabric Composer によって実現されます。
- 参考資料 HPE Aruba ネットワーク ソリューション / 学習ガイド）：
- * Aruba Central AI for Networking - ソリューション概要
 - * Aruba ESP AIOpsとAIインサイト - ホワイトペーパー
 - * Aruba Centralサイトの比較と最適化 - 製品概要
 - * Aruba Central AI を活用したベンチマーク - テクニカル ガイド

質問: 12

HPE Aruba Networking Dynamic Segmentation が顧客のビジネス成果の達成を支援する 1 つのビジネス成果は何ですか？

- A. 複雑な手動設定なしで、異なるタイプのユーザーのトラフィックを分離します。
- B. HPE Aruba Networking Central が提供する実用的な推奨事項を使用してパフォーマンスを最適化します。
- C. さまざまな種類のワイヤレス クライアントや Bluetooth クライアントに位置情報ベースのサービスをプッシュします。
- D. ダウンタイムとメンテナンスの時間を削減するために、ネットワーク アップグレードをローリング ベースで実行します。

正解: ([正解を表示します](#))

正解は Aruba のダイナミック セグメンテーションにより、複雑な VLAN や手動構成を必要とせずに、さまざまなユーザー、デバイス、アプリケーションのトラフィックを自動的に分離して保護できるため」です。有線および無線ネットワーク全体に一貫したセキュリティとアクセス ポリシーを適用することで、操作を簡素化し、最小限の権限によるアクセスを保証します。

公式 HPE Aruba Networking ドキュメントからの関連抜粋:

- * ダイナミック セグメンテーションにより、ユーザーとデバイスが接続する場所に関係なく、ルールベースのポリシーが自動的に適用され、複雑な VLAN 構成が不要になります。」

- * 有線、無線、WAN 全体でポリシー適用を統合することで、IT 部門は、運用上の複雑さを伴わずに、IoT、ゲスト、従業員のデバイスのトラフィックを安全にセグメント化できます。」
 - * ダイナミック セグメンテーションは、接続ポイントで一貫したアクセス ポリシーを適用し、リスクを軽減しながら日常の管理を簡素化します。」
 - * ビジネス成果には、運用の簡素化、セキュリティの強化、新しいデバイスやアプリケーションのサービス提供までの時間の短縮が含まれます。」他の選択肢が間違っている理由：
 - * AI 推奨によるパフォーマンスの最適化は、ダイナミック セグメンテーションではなく、Aruba Central AI for Networking の機能です。
 - * 位置情報ベースのサービスは、ダイナミック セグメンテーションではなく、Aruba Meridian および WLAN インフラストラクチャを通じて提供されます。
 - * 最小限のダウンタイムでの D ローリング アップグレードは、ダイナミック セグメンテーションではなく、Aruba CX スイッチとヒットレス アップグレードなどの AOS-CX 機能によって実現されます。
- 参考資料 HPE Aruba ネットワーク ソリューション / 学習ガイド) :
- * Aruba ダイナミックセグメンテーション - ソリューション概要
 - * Aruba ESP セキュリティとゼロトラスト - テクニカルホワイトペーパー
 - * Aruba ClearPass Policy Manager - 製品ガイド
 - * Aruba エッジサービスプラットフォーム (ESP) - ソリューション概要

質問: 13

顧客が HPE Aruba Networking Zero Trust Security のユースケースを持つことができるかどうかを明らかにするトピックは何ですか？

- A. 内部のユーザーとデバイスが外部のものよりも信頼される理由。
- B. 意思決定者が IPsec などのテクノロジーをどの程度理解しているか。
- C. 規制遵守を確保するための顧客のプロセス。
- D. サーバーに保存されているデータを暗号化するための顧客の要件。

正解: A ([コメントを發表する](#))

正解は A」です。ゼロトラスト セキュリティは、内部か外部かを問わず、いかなるユーザー、デバイス、ネットワークセグメントも本質的に信頼されるべきではないという原則に基づいているためです。Arubaは、組織が依然として内部トラフィックは外部トラフィックよりも安全であると想定していることが多く、この想定が重大なセキュリティギャップを生み出していることを指摘しています。お客様がこの「信頼できる内部」モデルに依存しているかどうかを特定することで、ゼロトラスト導入の明確なユースケースが明らかになります。

公式 HPE Aruba Networking ドキュメントからの関連抜粋:

- * ゼロトラストとは、ネットワーク境界の内外を問わず、ユーザー、デバイス、アプリケーションが暗黙的に信頼されないセキュリティ モデルです。」

- * 従来のアプローチでは、内部のデバイスとユーザーは信頼できると想定されていましたが、ゼロトラストでは、すべてのエンティティを継続的に認証および承認することで、この想定を排除します。」
 - * Aruba Zero Trust Security は、可視性、制御、継続的な監視に重点を置いており、ネットワーク内のすべてのデバイス (管理されていない IoT を含む) に最小限の権限アクセスを適用します。」
 - * 社内ユーザーやデバイスに対して依然として暗黙の信頼に依存している組織は、ゼロトラスト導入の有力候補です。」他の選択肢が間違っている理由：
 - * IPsec を理解することは技術的な詳細であり、ゼロトラストの使用例を明らかにするものではありません。
 - * 規制コンプライアンスは重要ですが、ゼロトラスト導入の主な推進力ではありません。重要なのは保証とガバナンスです。
 - * 保存データの暗号化はストレージ/セキュリティ要件であり、ネットワークベースのゼロトラストセキュリティ原則とは直接結び付けられていません。
- 参考資料 HPE Aruba ネットワーク ソリューション / 学習ガイド) :
- * Aruba ゼロトラストセキュリティ - ソリューション概要
 - * Aruba ESP (エッジサービスプラットフォーム) - セキュリティホワイトペーパー
 - * Aruba ClearPass と Client Insights - テクニカル ガイド
 - * Aruba ESP ゼロトラストと SASE の位置付け - 製品概要

質問: 14

HPE Aruba Networking のロケーションベース サービスが競合サービスと異なる特徴は何ですか？

- A. ほとんどの HPE Aruba Networking AP は GPS を使用して自身の位置を特定し、地図上での AP の配置を自動化できます。
- B. 最新の HPE Aruba Networking スイッチは、位置情報ベースのサービスを提供し、顧客が有線サービスと無線サービスを統合できるようにします。
- C. HPE Aruba Networking は、ローカル マップ上で AP の配置を自動化するサンプル スクリプトを含む GitHub へのアクセスを開発者に提供します。
- D. HPE Aruba Networking Central は、AP ではなく専用のハードウェア デバイスと通信して、位置情報ベースのサービスを提供します。

正解: ([正解を表示します](#))

正解は A) です。Aruba Wi-Fi 6/6E/7 AP には、自動位置特定と測位を可能にする GPS レシーバーが内蔵されているためです。この機能により、AP は手動で入力することなくデジタルフロアプラン上に自己配置できるため、Aruba Central における Aruba ロケーションサービスの導入が迅速化されます。

HPE Aruba Networking ドキュメントからの関連抜粋:

- * Aruba Wi-Fi 6 および Wi-Fi 6E AP には GPS 受信機が統合されており、Aruba Central のマップ上で AP を自動的に配置できます。」

- * この自己位置特定機能により、AP の配置が通常は手動プロセスである競合製品と比べて、Aruba AP は際立っています。」
 - * APマップの配置を自動化することで、Arubaは導入時間を短縮し、屋内ナビゲーション、資産追跡、IoT可視化などの位置情報サービスにおいてより高い精度を実現します。」他の選択肢が間違っている理由：
 - * 位置情報ベースのサービスは、スイッチではなく、GPS とクラウドベースのサービスが統合された Aruba Central の AP を介して提供されます。
 - * 開発者ツールは存在しますが、GitHub スクリプトは LBS における Aruba の差別化の決定的な特徴ではありません。
 - * DAruba Central は外部の専用デバイスに依存せず、GPS 機能が組み込まれた Aruba AP を使用します。
- 参考資料 HPE Aruba ネットワーク ソリューション / 学習ガイド）：
- * Aruba ロケーション サービスと GPS 対応 AP - 技術概要
 - * Aruba Central 導入ガイド - 屋内位置とマッピング
 - * Aruba Wi-Fi 6/6E AP データシート - 統合 GPS 機能
 - * Aruba ESPの価値差別化要因 - 位置情報サービス

有効的な**HPE2-W12**問題集はJPNTTest.com提供され、**HPE2-W12**試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新**HPE2-W12**試験問題集を提供します。JPNTTest.com HPE2-W12試験問題集はもう更新されました。ここで**HPE2-W12**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/HPE2-W12-mondaishu> **62問、30%ディスカウント**、特別な割引コード: **JPNshiken**」